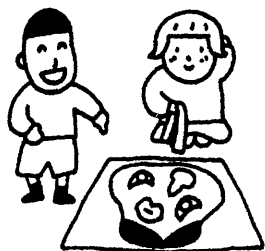


きゅうしゅくだよ！ 1月

平成23年 1月13日
江戸川区立第三松江小学校



います。どうぞよろしくお願いいたします。

新しい年になりました。今年はどんな出会いや感動が待っているのでしょうか。健康ですばらしい年にしたいですね。「食べること」は、からだづくりの基本、そして生涯の楽しみであり、人との絆を深める手段でもあります。健康なからだと豊かな心を育むために、今年も魅力的な給食を目指し、様々な機会をとらえて食育に取り組んでいきたいと思

《 1年の健康生活の目標を立てよう 》

「1年の計は元旦にあり」という昔からの言葉があります。元旦にその年の計画を立て、それに向かって1年を過ごそうという意味です。

最近、1月1日を1年のあらたまった日と感じる人が少なくなったように思われますが、1年の生活の目標を持つことは、けじめをつけるためにも意義があります。まだ、具体的に考えていない人も、今年は健康に1年を過ごすための目標を、家族・個人で立ててみてはいかがでしょうか。

朝ごはんをかならず食べる。

1日3食きちんと食べる。

すききらいをなくす。

早起きをする。

野菜を残さないようにする。

《 学校給食週間 1月24日(月)～1月30日(日) 》

* 学校給食が始まって、今年で122年になります。毎日何気なく食べている給食・・・今月は学校給食の歴史を振り返ってみましょう。

学校給食は明治時代、現在の山形県鶴岡市で始まりました。その後、徐々に全国に広がった給食も、第二次世界大戦で中断されました。戦後、ユニセフの救援物資などでパンと脱脂粉乳の給食が再開され、栄養不足の子ども達を救ったのです。これを記念して設けられたのが学校給食週間です。

明治22年 山形県鶴岡町（現鶴岡市）の小学校で、お弁当を持ってくるののできない子どもたちのために、学校で調理した食事を提供したのが始まりです。当時の献立はおにぎりや漬物でした。

昭和7年 学校にお弁当を持ってくるののできない子どもや、体の弱い子どもを救うために、国庫補助による給食が始められました。

昭和18年 戦争で食べるものがなくなり、給食が中止されました。
昭和21年 戦争が終わり、外国から送られてきた脱脂粉乳や缶詰を使って、東京・神奈川・千葉の3都県で試験的に給食が12月24日に再開されました。この日が戦後の学校給食開始の記念日となりましたが、冬休みになるため1ヶ月後の1月24日が給食記念日となりました。

「学校給食の歴史」の一部・・・いかがでしたか？給食に携わる人々の苦労や、努力のことも思いながら、感謝の気持ちを持っていただきたいですね。お父さんやお母さん、おじいさんやおばあさんの子どもの頃の学校給食はどんな様子だったのでしょうか。

25日(月)～30日(日)の1週間は、特に学校給食に関心を深めてほしいと思い、東京や他の県（熊本県、岡山県、北海道）の郷土料理が入っています。また、地元江戸川区の特産の小松菜を使ったメニューもたくさん入っています。小松菜と竹輪のあえもの、小松菜クッキーパン、かぼちゃあんの小松菜まんじゅう、切り干し大根と小松菜のあえもの・・・地元で栽培された小松菜は新鮮で美味しいですよ！豊かな生活や食べ物のありがたさをもう一度考える1週間でありたいですね。